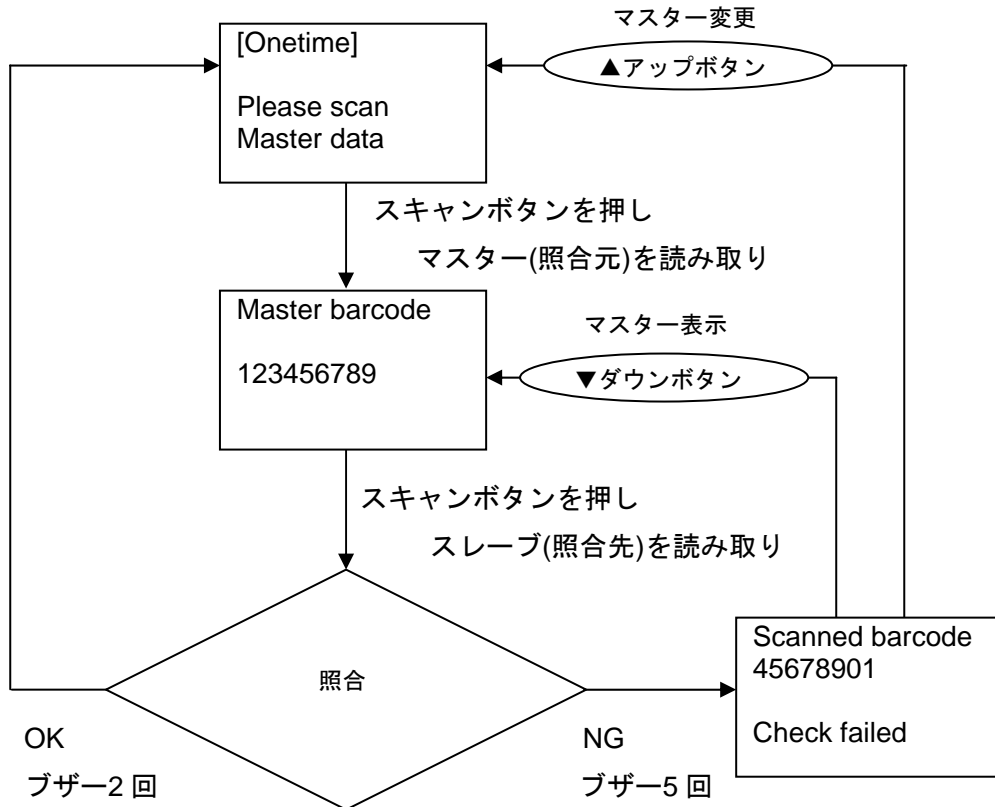


●1 対 1 の照合モードの使い方 (Master/Slave Onetime)

- マスター(照合元)を読み取り、次にスレーブ(照合先)を読み取って下さい。←
- ▶ 一致なら、マスター読み取り画面になります。
 - ▶ 不一致なら、Check failed(チェック失敗)と表示します。スキャンボタンは無効になります。
 - ▶ アップボタン(▲)でマスター読み取り画面になります。
 - ▶ ダウンボタン(▼)で直前のマスターを表示する。スレーブを読みなおして下さい。

フローチャート

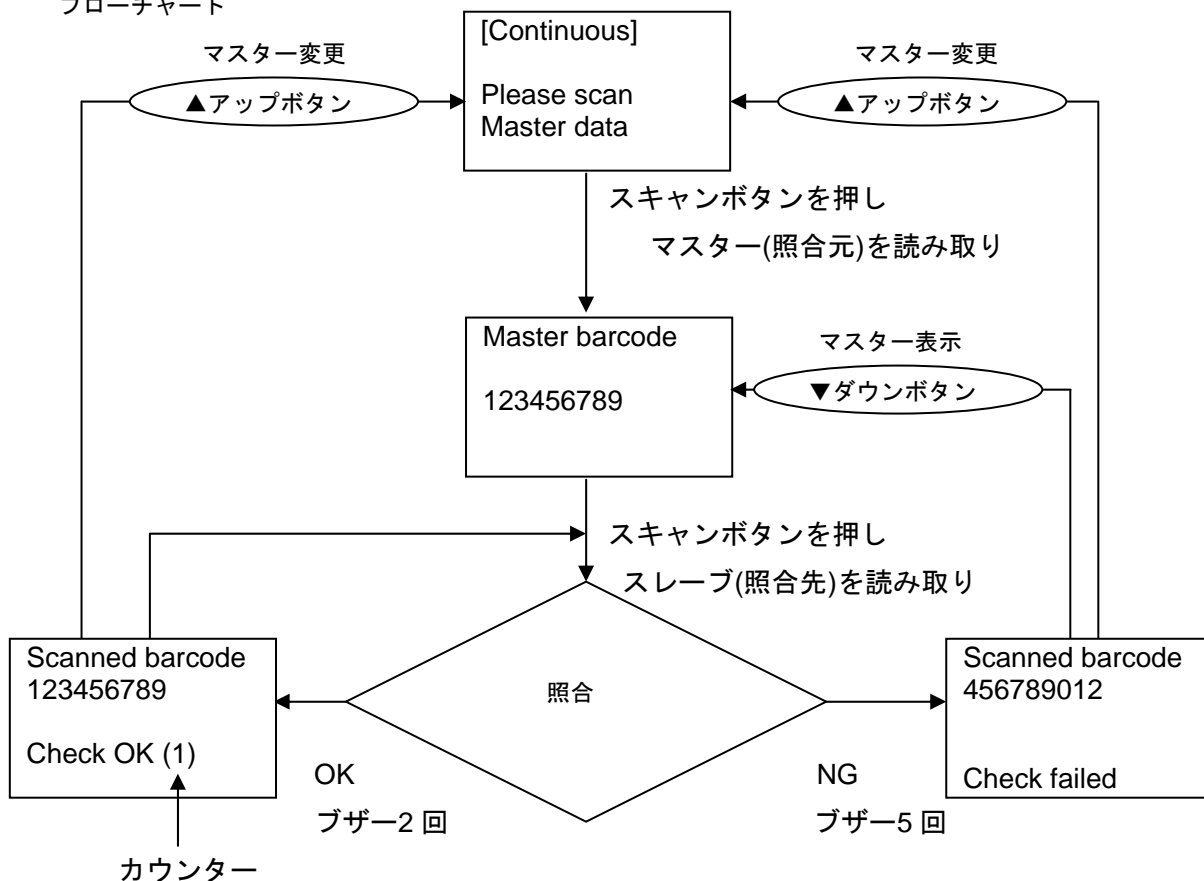


●1対Nの照合モードの使い方 (Master/Slave Continuous)

マスター(照合元)を読み取り、次にスレーブ(照合先)を読み取って下さい。

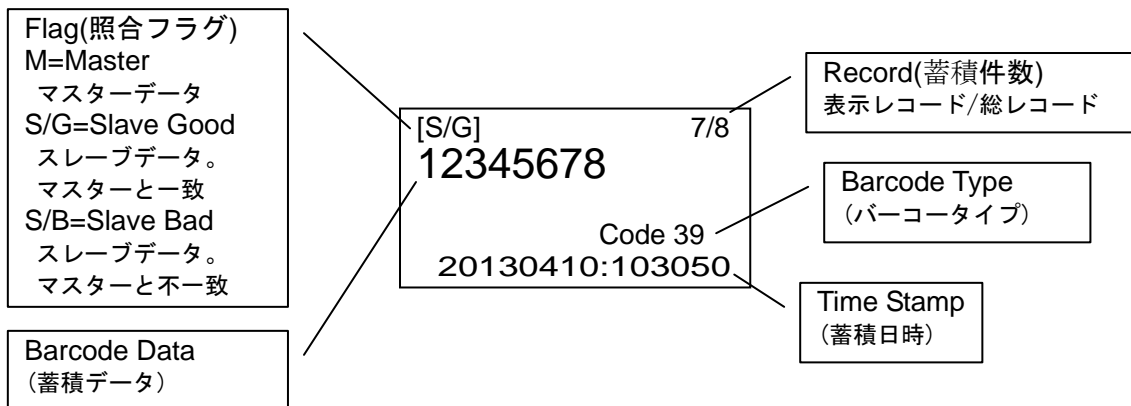
- ▶ 一致なら「Check OK(数)」を表示します。
 - ▶ 続けてスレーブを読み取って下さい。
 - ▶ アップボタン(▲)でマスター読み取り画面になります。
- ▶ 不一致なら、Check failed(チェック失敗)と表示します。スキャンボタンは無効になります。
 - ▶ アップボタン(▲)でマスター読み取り画面になります。
 - ▶ ダウンボタン(▼)で直前のマスターを表示する。スレーブを読み取って下さい。

フローチャート



●照合モード (Master/Slave) での蓄積データを表示する

KDC 側面のアップボタンとダウンボタン同時押し→View Data→下記のように蓄積データを表示します。



アップボタンとダウンボタンで蓄積データの履歴を変更します。

スキャンボタンで Delete(消去)か Cancel(キャンセル)を決定します。